

株式会社荏原製作所

<https://www.ebara.com/jp-ja/sustainability/environment/environmental-management/#%E7%94%9F%E7%89%A9%E5%A4%9A%E6%A7%98%E6%80%A7>



《将来に向けた取組方針》

荏原グループは、生物多様性の保全を企業の社会的責任であると同時に、重要な経営課題の一つとして捉え、「荏原グループ生物多様性ガイドライン」を策定しております。

従業員に対しては、環境教育や自然体験の機会を提供することで、生物多様性への認識と保全に対する理解を深めるよう努めております。

また、事業活動においては、「省資源」「省エネルギー」「調達活動での配慮」といった取り組みを通じて、生物多様性の保全に貢献しております。

今後も、このガイドラインに沿った活動を通じて、事業と生物多様性の関わりについて継続的に把握し、保全への取り組みに反映させていく所存です。

《具体的取組み事例》

①倉松川美化活動

埼玉県春日部市を流れる倉松川は、地域の治水において重要な役割を担う川であり、荏原のポンプを納入している「首都圏外郭放水路」「庄和排水機場」に流入する河川です。当社は2020年より、地域の皆様と連携しながら、草刈りや清掃活動を通じて倉松川周辺の環境美化に取り組み、生物多様性の保全に貢献しています。

②「水と空気と環境の森」環境保全活動

神奈川県の森林再生パートナーとして、当社は、間伐や草刈りなどの森林保全活動を行っております。この活動を通して参加した従業員とその家族は、水生生物や山生植物について楽しく学び、水源涵養林の大切さ、森林を守る活動の重要性などについて理解を深めております。



《学んだこと・成果》

①地域住民の方々と美化活動を通して交流を深める中で、地域の自然環境に関する社会課題について考える貴重な機会となっております。

②森林整備活動により、今後5年間で約247トンのCO₂吸収が見込まれており、地球温暖化防止への貢献が期待されます。

《今後の課題》

自然共生社会の実現に向けて、環境負荷低減に配慮したもののづくり活動や、環境保全活動を推進してまいります。今後もステークホルダーの皆様と連携し、生物多様性の向上に努めてまいります。

